



巻尺だけで簡単に確認できる 和牛子牛の発育指標を作成

— 腹胸比1.2の子牛は優れた発育が期待できます —

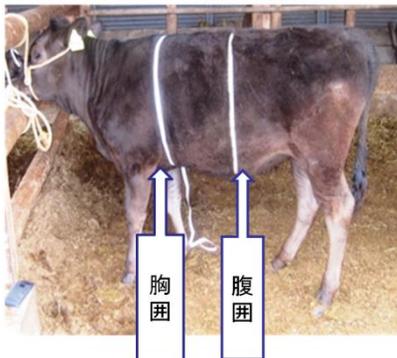
開発の背景・ニーズ

近年、黒毛和種繁殖農家では子牛育成期の日増体量を大きくすることが重要な課題となっています。これまで多くの生産農家では、しっかりと腹が大きく張った「腹づくり」を目安に、経験的に発育状態を推測していました。そこで、子牛の良好な発育を誰でも簡単に確認できる方法の開発に取り組みました。

成果の内容

体重と体高で標準値を上回った子牛の腹囲と胸囲を調べると、腹囲を胸囲で除した腹胸比は、3か月齢の去勢雄及び4か月齢の雌で1.2に到達し、その後も1.2を維持することがわかりました。この結果から、腹胸比1.2は発育の良否を示す「腹づくり」の有効な指標となることが明らかとなりました。さらに、腹胸比1.2となるための腹囲と胸囲の発育指標を作成しました。

測定方法



胸囲：肩甲骨後端にあわせて胸部周りを測る。
腹囲：最終肋骨の上にあわせて腹部周りを測る。

去勢の腹囲、胸囲の推移(cm)

月 齢	1	2	3	4	5	6	7	8
胸 囲	89	100	108	117	126	133	141	148
腹 囲	94	109	127	140	150	159	169	172
腹胸比	1.1	1.1	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2

雌の腹囲、胸囲の推移(cm)

月 齢	1	2	3	4	5	6	7	8
胸 囲	90	100	111	116	122	130	138	146
腹 囲	95	109	125	138	148	158	170	180
腹胸比	1.1	1.1	1.1	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2

4か月齢までに腹胸比1.2に到達するための「発育指標」

月 齢	去勢雄					雌				
	4	5	6	7	8	4	5	6	7	8
体 重	132.7	148.1	178.1	209.6	242.2	113.4	140.5	168.5	196.5	223.7
体 高	96.7	98.1	102.4	106.2	109.7	92.5	97.1	101.1	104.7	107.7
胸 囲	117.8	122.1	129.8	137.1	144.0	112.4	120.4	127.6	134.0	139.6
腹 囲	141.4	146.5	155.8	164.5	172.8	134.9	144.5	153.1	160.1	167.5

愛知県農業への貢献

巻尺を準備するだけで特別な機材を必要とせず、畜舎で胸囲と腹囲を測ることで、誰でも簡単に子牛の良好な発育を確認できます。これにより、市場から望まれている、日増体量が多く、早く大きくなる牛を生産することができます。